

1-②

ICTを活用した授業実践と家庭学習

【課題】

○授業でタブレットを使いたい。家庭学習にICTを活用したい。電子黒板を活用したい。

【実施条件】

○ICT環境（タブレット、Wi-Fi）が整備されている。
○eラーニング教材を活用できる環境がある。

【内容】

○ICTを取り入れた授業を行い、家庭学習でも活用させる。

【実施方法】

- ICTの活用方法についての職員研修を行う。
- 保護者向けに、活用のねらいや活用方法について研修会を実施する。
- 授業の中で、単元のまとめや復習等の場面で活用する。
- 可能な範囲で地域の学習支援教室でも活用してもらう。
- eラーニング教材を家庭学習のひとつとして位置づけ、保護者説明をした上で活用を促す。
- 令和2年度は、アクションリサーチの手法を活用し、実践検証を年度途中に行い、eラーニング教材の更なる効果的な活用を図った。
※アクションリサーチ…課題に対して、取り組む教員が仮説を立て、それに基づいて検証方法を計画する。その検証方法を使って実践し、結果を考察し、次の取組に生かす。

【アクションリサーチの取組例】

- ①「学習記録シート」を作成し、生徒が取組状況を記録するとともに、活用状況と「週末課題確認テスト」の結果を比べてeラーニング教材の効果を検証する。
- ②eラーニング教材を授業の終末の適用題や家庭学習として個々の進度に応じて取り組ませ、eラーニング教材を活用した学習時間と単元末テストの達成度を比べて、eラーニング教材の効果を検証する。

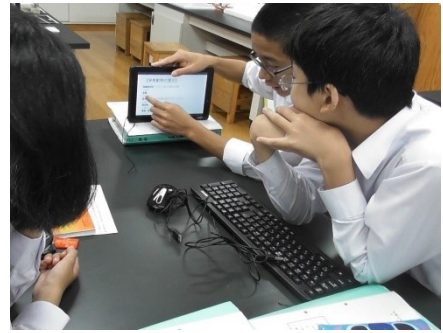
【成果・効果】

- ICT教育支援員による環境整備や職員研修により、小学校・中学校のどちらでも活用可能になる。
- 特別支援学級での活用も有効。復習として、他学年の基礎基本の定着を図ることができる。また、自己採点による学習ができ、達成状況が確認できる。
- 選択肢があり、楽しみながら取り組めるので学習意欲が向上し、家庭学習の習慣が身についた。
- 各生徒の学習記録を見ることで、週末の家庭学習の状況を基に指導することができた。
- 自分にあった問題に取り組むことができ、できたという達成感が高まり、学習に対する自己肯定感が高まった児童生徒が見られた。

【ポイント】

- まず最初に、教師がICTを活用できるようにする。
- 教科を絞って活用してみる。（例：理科、数学）
- 小学校3年生くらいから段階的にICTの使い方を習得させる。

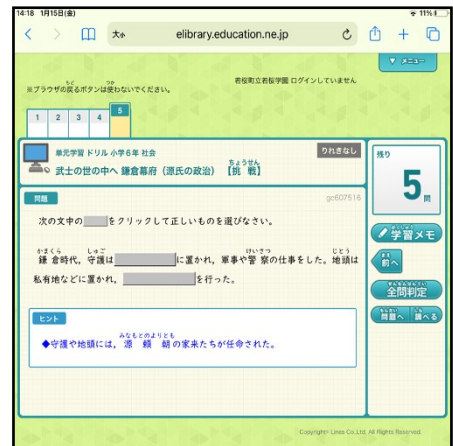
（若桜学園中学校区）



タブレットを活用した理科の授業



eラーニング教材に取り組む様子



eラーニング教材
(eライブラリの画面)